

植物の「もよう」を紙に写し取ろう

私たちの身の回りにはたくさんの植物がいます。私たち一人ひとりが違う顔で、違う服を着ているように、植物のからだも一つひとつ違った色や形を持っています。今日はそんな植物たちがもつ「もよう」をじっくり観察してみましょう。

○ 葉っぱの「もよう」を紙に写し取ってみよう！



準備するもの

- ・取った葉っぱを入れる袋（透明なチャック付きナイロン袋がよい）
- ・ティッシュペーパー（またはキッチンペーパー）
- ・色えんぴつ [先がとがっていない方がよい]
- ・コピー紙 [薄いものがよい]
- ・カメラ（スマートフォンなどでもよい）
- ・のり
- ・テープまたはホッチキス



やり方

<外での作業>

- ① 葉っぱに手の届く木の中から、好きな木を1本選んで写真を撮る。
- ② お気に入りの葉っぱを選び、その周りの葉っぱも入るように写真を撮る。
- ③ 葉っぱを採集して、ナイロン袋に入れる。

<帰ってからの作業>

- ④ 持ち帰った葉っぱが濡れているときは、ティッシュペーパーで水気を拭き取る。
- ⑤ コピー紙の下に葉っぱを置き、葉っぱと紙が動かないように手や腕で押さえながら、葉っぱの上を塗りつぶすように色えんぴつを動かす。
- ⑥ ワークに取り組む。
- ⑦ できあがったものをみんなと見せ合う。



気をつけること

- ・<外での作業>は大人と一緒にいきましょう。人の家の木などから葉っぱを採集してはいけません。
- ・同じ木から何枚も葉っぱを採集してはいけません。お気に入りの葉っぱを慎重に選びましょう。
- ・虫に食べられた葉っぱでも、その形が写し取られるので面白いかもしれません。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

ワーク

(1) 葉っぱを採集した日、場所を書きましょう。

採集した日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日

採集した場所： _____

(2) 色えんぴつで塗った葉っぱの絵を貼りましょう。

* 葉っぱの形に切り取るのではなく、周りを残して切った方がきれいです。



(3) 葉っぱを見て、気づいたことなどの情報を残しておきましょう。(色・手触り・表裏の違い…)



(4) どんな名前の木の葉っぱなのか、図鑑やインターネットなどで調べてみましょう。

* 葉っぱの大きさ・形・色、幹の色・模様、木のある場所などが探すヒントになります。

名前： _____ 分類： _____ 科 _____ 属

(5) 撮った写真とこの紙をテープやホッチキスで留めて、残しておきましょう。



考えてみよう・話し合ってみよう

- (1) 持っている 2 枚の葉っぱや、自分の葉っぱと他の人の葉っぱを見比べて、同じところ・違うところを具体的に挙げよう。

- (2) たくさんある葉っぱの中から、言葉での説明だけで自分の葉っぱはどれかを見つけてもらうために必要なポイントをたくさん書こう。

- (3) 絵にしたことで、「葉っぱの絵」を見るだけでは伝わらない、「葉っぱ」実物の情報はどんなものがあるだろうか。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

(4) 採集した植物の情報を伝える方法として、黒えんぴつのみで「スケッチ」する、「写真」を撮る、乾燥させて「標本」にする、今回のように上から塗りつぶす（「拓」をとる）、といった方法があります。
情報を伝えるものとして「スケッチ」、「写真」、「標本」、「拓」の良いところ・悪いところをそれぞれ考えてみよう。

「スケッチ」 ○ 良いところ	× 悪いところ
「写真」 ○ 良いところ	× 悪いところ
「標本」 ○ 良いところ	× 悪いところ
「拓」 ○ 良いところ	× 悪いところ

(5) 採集した植物の情報を伝えるときに、採集した日、場所、また採集した人の名前を残すのはどんな意味があるのだろうか。

--

(6) 博物館で展示されている「植物」は、(4)にあるうちどの方法で展示されているか。また、どんな情報が付け加えているか、実際に行ってみて確認しよう。